

DWS 通貨選択型エマージング・ソブリン・ボンド・ファンド

豪ドルコース（毎月分配型） 愛称：通貨セレクト 豪ドル
 ブラジルリアルコース（毎月分配型） 愛称：通貨セレクト ブラジルリアル
 南アフリカランドコース（毎月分配型） 愛称：通貨セレクト 南アランド
 トルコリラコース（毎月分配型） 愛称：通貨セレクト トルコリラ
 円コース（毎月分配型） 愛称：通貨セレクト 円

交付運用報告書 追加型投信/海外/債券 作成対象期間（2018年6月21日～2018年12月20日）

第104期（決算日：2018年7月20日） 第106期（決算日：2018年9月20日） 第108期（決算日：2018年11月20日）
 第105期（決算日：2018年8月20日） 第107期（決算日：2018年10月22日） 第109期（決算日：2018年12月20日）

第109期末（2018年12月20日）

	豪ドルコース （毎月分配型）	ブラジルリアルコース （毎月分配型）	南アフリカランドコース （毎月分配型）	トルコリラコース （毎月分配型）	円コース （毎月分配型）
基準価額	7,716円	2,820円	3,524円	2,042円	8,170円
純資産総額	1,259百万円	1,222百万円	33百万円	110百万円	481百万円

第104期～第109期（2018年6月21日～2018年12月20日）

騰落率	△0.6%	0.4%	1.7%	△0.1%	△1.4%
分配金合計	180円	150円	195円	120円	90円

（注）騰落率は収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

■受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「DWS 通貨選択型エマージング・ソブリン・ボンド・ファンド（毎月分配型）」は、2018年12月20日に第109期の決算を行いました。各ファンドは、主として、新興国の政府及び政府機関等の発行する債券等を主要投資対象としインカム・ゲインの獲得と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。右記<お問い合わせ先>ホームページの「トップページ」→「投資信託」→「運用報告書一覧」のページにおいて運用報告書（全体版）を閲覧及びダウンロードすることができます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区永田町2-11-1 山王パークタワー

<お問い合わせ先>

電話番号：0120-442-785

受付時間：営業日の午前9時～午後5時

<https://funds.dws.com/jp/>

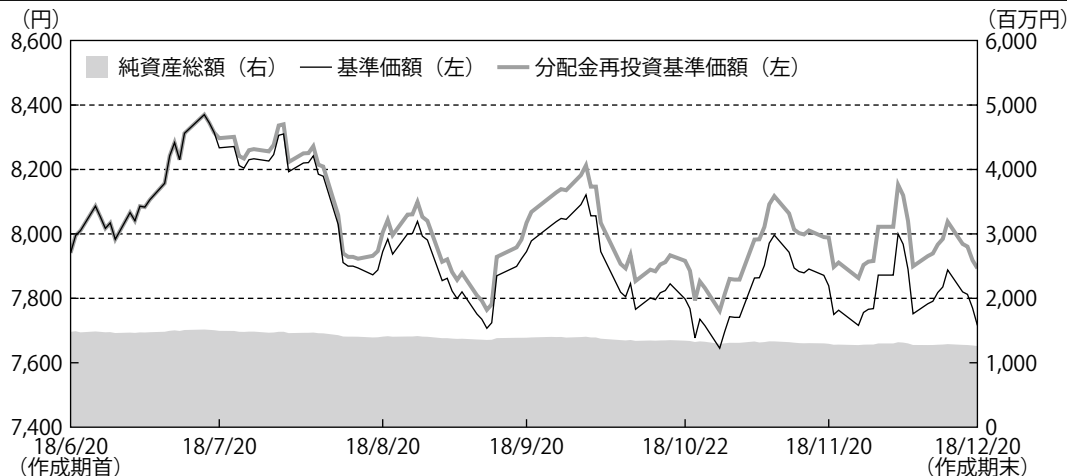
*お取引内容等につきましては、ご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

【豪ドルコース (毎月分配型)】

■基準価額等の推移について

(2018年6月21日～2018年12月20日)



第104期首：7,941円

第109期末：7,716円 (既払分配金180円)

騰落率：△0.6% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主に新興国の政府及び政府機関等の発行する米ドル建の債券等に投資し、高水準のインカム・ゲインの獲得とファンド資産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。米中貿易摩擦への警戒感などから、リスク回避的な流れが広がり、保有債券のスプレッド*が広がったことは基準価額の下落要因となった一方で、米国金利*が低下したことは上昇要因となりました。

*スプレッド：主に主要国債 (先進国国債など) 利回りとの利回り格差のことで、発行体の信用力や流動性等の影響を受けます。一般的に、信用力が高まればスプレッドは縮小 (価格の上昇要因) し、信用力が低下すればスプレッドは拡大 (価格の下落要因) する傾向があります。

*金利：債券価格は金利変動の影響を受けます。一般的に金利が低下した場合には債券価格は上昇し、逆に金利が上昇した場合には債券価格は下落する傾向があります。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第104期～第109期 2018年6月21日～2018年12月20日		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	54円	0.671%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は7,978円です。
(投 信 会 社)	(17)	(0.217)	委託した資金の運用等の対価
(販 売 会 社)	(35)	(0.433)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.022)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	4	0.050	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用・印刷費用等)	(4)	(0.050)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用や目論見書や運用報告書の作成に係る費用等
合 計	58	0.721	

(注) 期中において発生した費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

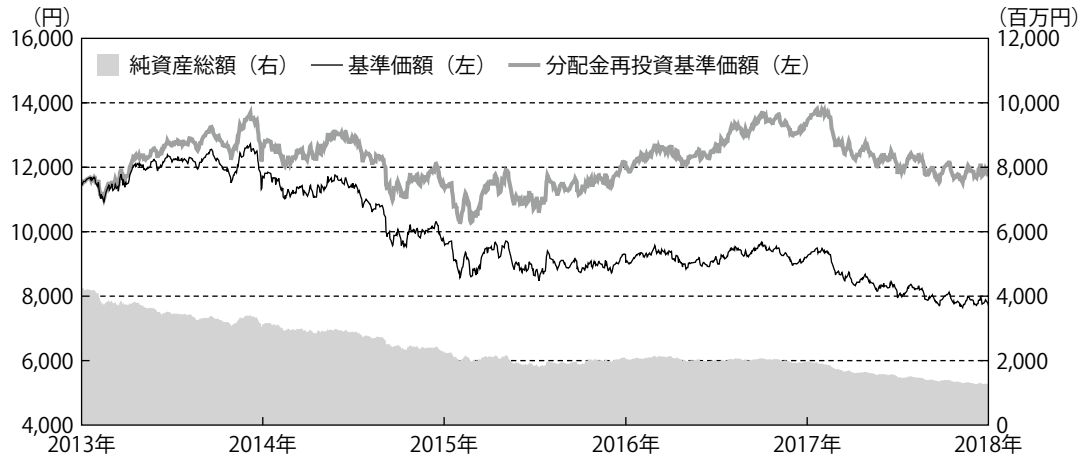
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注) 監査費用・印刷費用等にはマイナス金利に係る費用等を含みます。

■最近5年間の基準価額等の推移について

(2013年12月20日～2018年12月20日)



(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様ご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

	2013年12月20日	2014年12月22日	2015年12月21日	2016年12月20日	2017年12月20日	2018年12月20日
基準価額 (円)	11,434	11,671	9,586	9,041	9,222	7,716
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	960	960	960	910	360
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	10.6	△10.2	4.9	12.5	△12.6
純資産総額 (百万円)	4,249	3,124	2,247	2,035	1,967	1,259

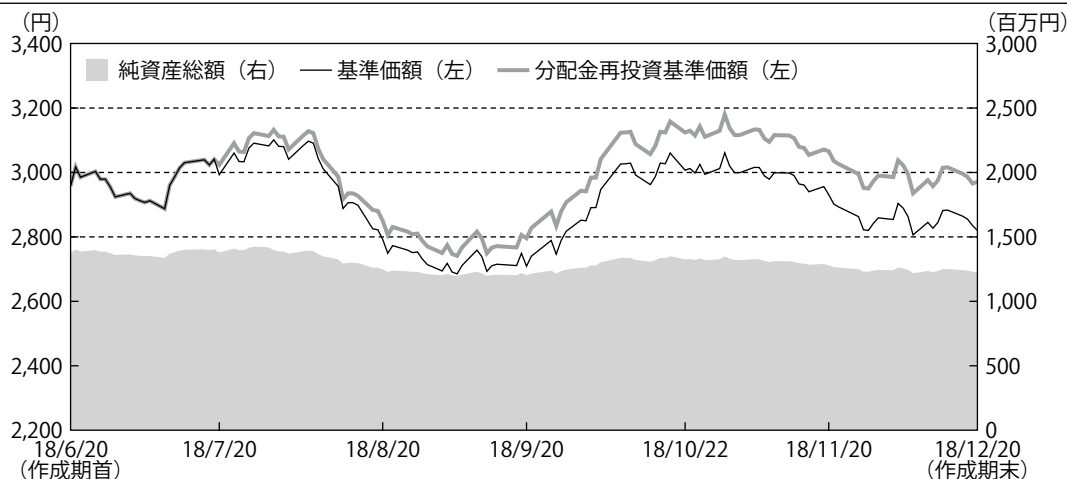
- 当ファンドは、DWS エマージング・ソブリン・ボンド・マスター・ファンド（豪ドル）及びDWS ユーロ・リザーブ・ファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。ファンドの収益率を測る適切なインデックスが存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を設けておりません。

運用経過

【ブラジルリアルコース (毎月分配型)】

■基準価額等の推移について

(2018年6月21日～2018年12月20日)



(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

(注) 分配金を再投資するかかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主に新興国の政府及び政府機関等の発行する米ドル建の債券等に投資し、高水準のインカム・ゲインの獲得とファンド資産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。米中貿易摩擦への警戒感などから、リスク回避的な流れが広がり、保有債券のスプレッド*が広がったことは基準価額の下落要因となった一方で、米国金利*が低下したことは上昇要因となりました。

*スプレッド：主に主要国債 (先進国国債など) 利回りとの利回り格差のことで、発行体の信用力や流動性等の影響を受けます。一般的に、信用力が高まればスプレッドは縮小 (価格の上昇要因) し、信用力が低下すればスプレッドは拡大 (価格の下落要因) する傾向があります。

*金利：債券価格は金利変動の影響を受けます。一般的に金利が低下した場合には債券価格は上昇し、逆に金利が上昇した場合には債券価格は下落する傾向があります。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第104期～第109期 2018年6月21日～2018年12月20日		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	20円	0.671%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は2,905円です。
(投 信 会 社)	(6)	(0.217)	委託した資金の運用等の対価
(販 売 会 社)	(13)	(0.433)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.022)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.050	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用・印刷費用等)	(1)	(0.050)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用や目論見書や運用報告書の作成に係る費用等
合 計	21	0.721	

(注) 期中において発生した費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

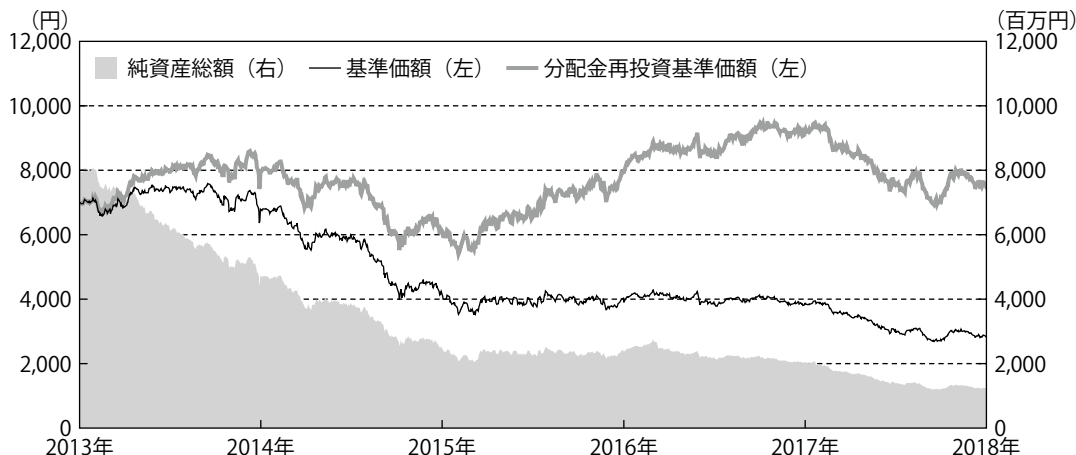
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注) 監査費用・印刷費用等にはマイナス金利に係る費用等を含みます。

■最近5年間の基準価額等の推移について

(2013年12月20日～2018年12月20日)



(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様ご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

	2013年12月20日	2014年12月22日	2015年12月21日	2016年12月20日	2017年12月20日	2018年12月20日
基準価額 (円)	6,997	6,750	4,091	3,903	3,855	2,820
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	1,200	1,200	1,200	680	330
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	14.2	△23.8	29.9	17.1	△18.7
純資産総額 (百万円)	8,006	4,682	2,444	2,350	2,041	1,222

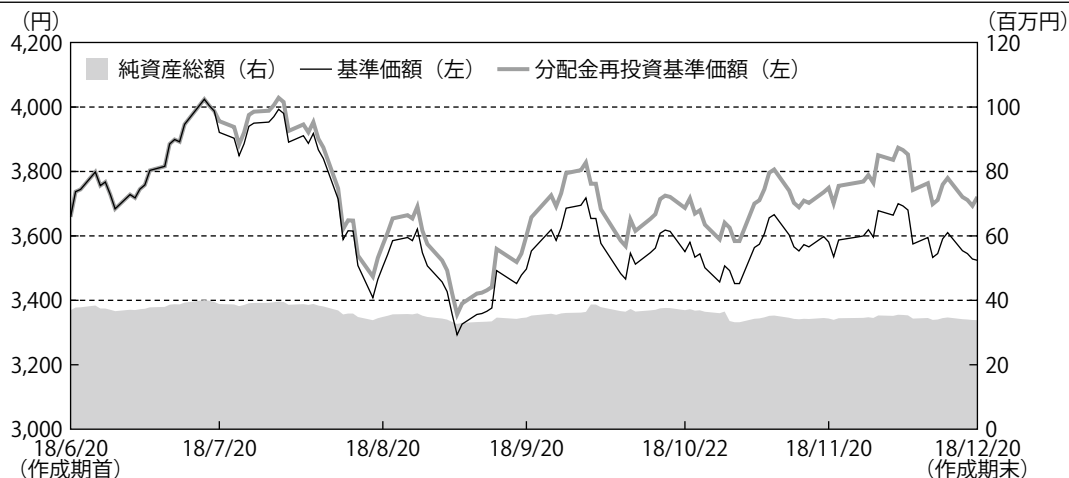
- 当ファンドは、DWS エマーシング・ソブリン・ボンド・マスター・ファンド（ブラジルリアル）及びDWS ユーロ・リザーブ・ファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。ファンドの収益率を測る適切なインデックスが存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を設けておりません。

運用経過

【南アフリカランドコース (毎月分配型)】

■基準価額等の推移について

(2018年6月21日～2018年12月20日)



第104期首：3,659円

第109期末：3,524円 (既払分配金195円)

騰落率：1.7% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主に新興国の政府及び政府機関等の発行する米ドル建の債券等に投資し、高水準のインカム・ゲインの獲得とファンド資産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。米中貿易摩擦への警戒感などから、リスク回避的な流れが広がり、保有債券のスプレッド*が広がったことは基準価額の下落要因となった一方で、米国金利*が低下したことは上昇要因となりました。

*スプレッド：主に主要国債 (先進国国債など) 利回りとの利回り格差のことで、発行体の信用力や流動性等の影響を受けます。一般的に、信用力が高まればスプレッドは縮小 (価格の上昇要因) し、信用力が低下すればスプレッドは拡大 (価格の下落要因) する傾向があります。

*金利：債券価格は金利変動の影響を受けます。一般的に金利が低下した場合には債券価格は上昇し、逆に金利が上昇した場合には債券価格は下落する傾向があります。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第104期～第109期 2018年6月21日～2018年12月20日		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	25円	0.671%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は3,669円です。
(投 信 会 社)	(8)	(0.217)	委託した資金の運用等の対価
(販 売 会 社)	(16)	(0.433)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.022)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.050	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用・印刷費用等)	(2)	(0.050)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用や目論見書や運用報告書の作成に係る費用等
合 計	27	0.721	

(注) 期中において発生した費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

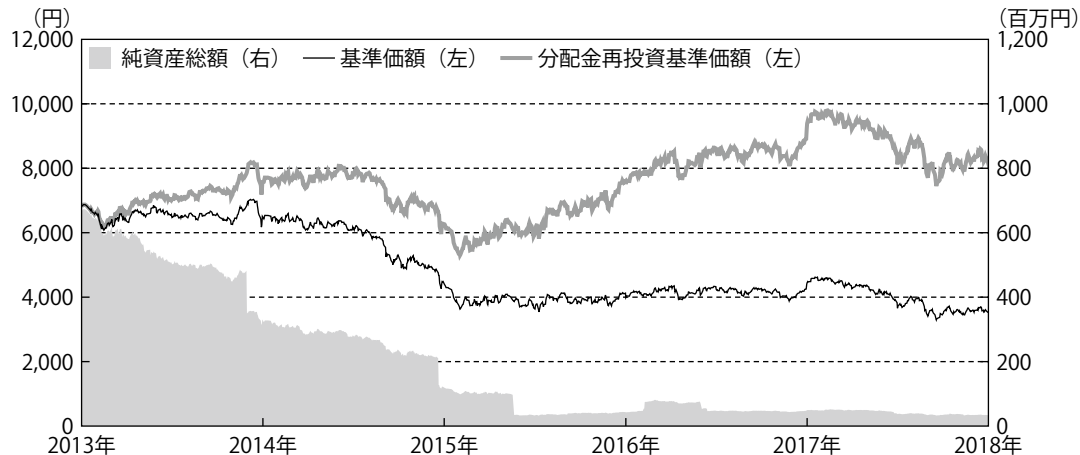
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注) 監査費用・印刷費用等にはマイナス金利に係る費用等を含みます。

■最近5年間の基準価額等の推移について

（2013年12月20日～2018年12月20日）



(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様ご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

	2013年12月20日	2014年12月22日	2015年12月21日	2016年12月20日	2017年12月20日	2018年12月20日
基準価額 (円)	6,819	6,429	4,387	3,986	4,447	3,524
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	1,080	1,080	1,080	475	405
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	11.2	△17.5	20.0	25.0	△12.1
純資産総額 (百万円)	667	322	118	42	49	33

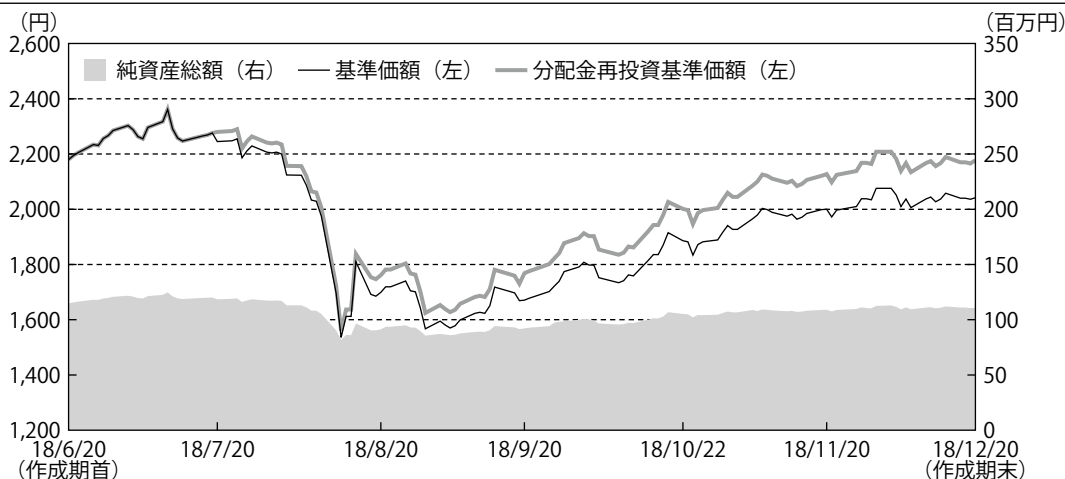
- 当ファンドは、DWS エマージング・ソブリン・ボンド・マスター・ファンド（南アフリカランド）及びDWS ユーロ・リザーブ・ファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。ファンドの収益率を測る適切なインデックスが存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を設けておりません。

運用経過

【トルコリラコース (毎月分配型)】

■基準価額等の推移について

(2018年6月21日～2018年12月20日)



第104期首：2,180円

第109期末：2,042円 (既払分配金120円)

騰落率：△0.1% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

(注) 分配金を再投資するかかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主に新興国の政府及び政府機関等の発行する米ドル建の債券等に投資し、高水準のインカム・ゲインの獲得とファンド資産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。米中貿易摩擦への警戒感などから、リスク回避的な流れが広がり、保有債券のスプレッド*が広がったことは基準価額の下落要因となった一方で、米国金利*が低下したことは上昇要因となりました。

*スプレッド：主に主要国債 (先進国国債など) 利回りとの利回り格差のことで、発行体の信用力や流動性等の影響を受けます。一般的に、信用力が高まればスプレッドは縮小 (価格の上昇要因) し、信用力が低下すればスプレッドは拡大 (価格の下落要因) する傾向があります。

*金利：債券価格は金利変動の影響を受けます。一般的に金利が低下した場合には債券価格は上昇し、逆に金利が上昇した場合には債券価格は下落する傾向があります。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第104期～第109期 2018年6月21日～2018年12月20日		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	13円	0.671%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は1,974円です。
(投 信 会 社)	(4)	(0.217)	委託した資金の運用等の対価
(販 売 会 社)	(9)	(0.433)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受 託 会 社)	(0)	(0.022)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.049	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用・印刷費用等)	(1)	(0.049)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用や目論見書や運用報告書の作成に係る費用等
合 計	14	0.720	

(注) 期中において発生した費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

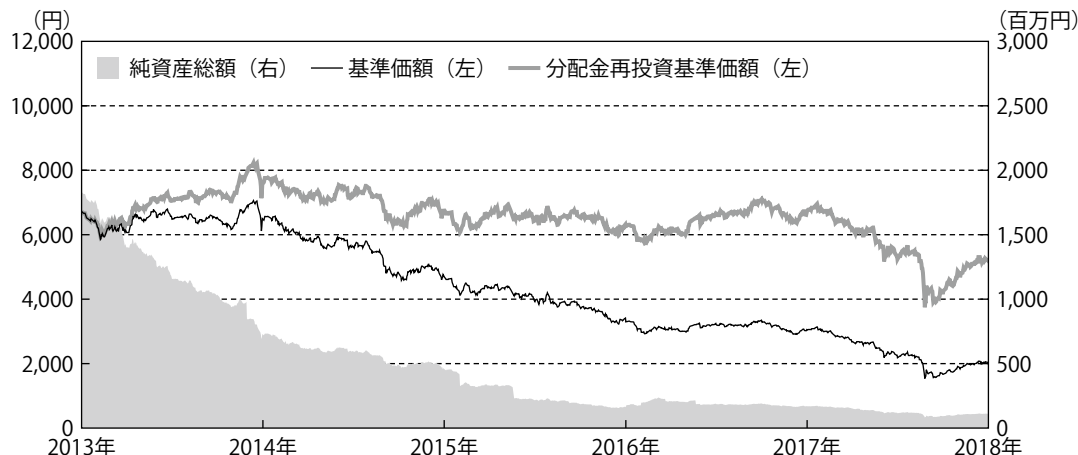
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注) 監査費用・印刷費用等にはマイナス金利に係る費用等を含みます。

■最近5年間の基準価額等の推移について

(2013年12月20日～2018年12月20日)



(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

	2013年12月20日	2014年12月22日	2015年12月21日	2016年12月20日	2017年12月20日	2018年12月20日
基準価額 (円)	6,718	6,451	4,678	3,296	3,041	2,042
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	1,080	1,080	1,080	475	330
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	13.5	△11.5	△7.1	7.5	△22.4
純資産総額 (百万円)	1,831	719	456	161	169	110

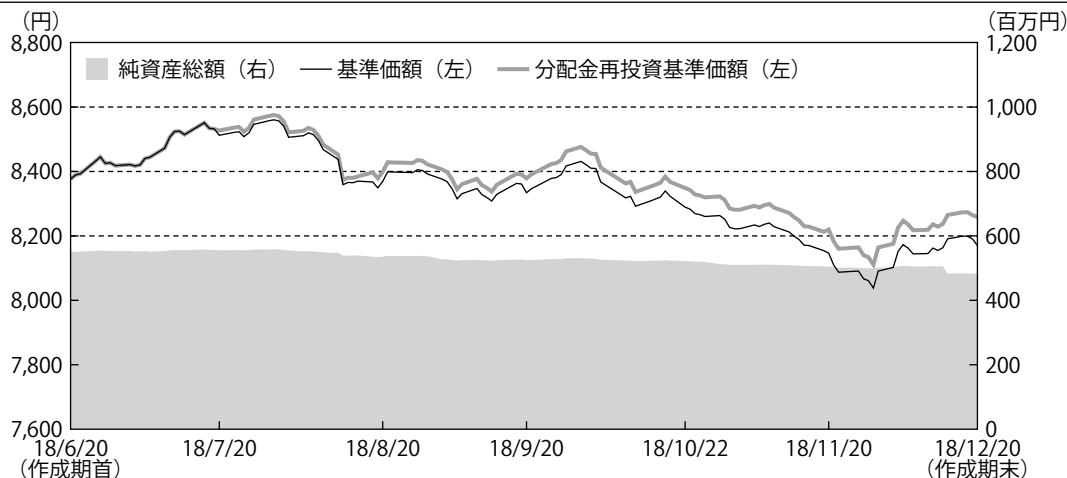
- 当ファンドは、DWS エマーシング・ソブリン・ボンド・マスター・ファンド（トルコリラ）及びDWS ユーロ・リザーブ・ファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。ファンドの収益率を測る適切なインデックスが存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を設けておりません。

運用経過

【円コース（毎月分配型）】

■基準価額等の推移について

（2018年6月21日～2018年12月20日）



第104期首：8,376円

第109期末：8,170円（既払分配金90円）

騰落率：△1.4%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主に新興国の政府及び政府機関等の発行する米ドル建の債券等に投資し、高水準のインカム・ゲインの獲得とファンド資産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。米中貿易摩擦への警戒感などから、リスク回避的な流れが広がり、保有債券のスプレッド*が広がったことは基準価額の下落要因となった一方で、米国金利*が低下したことは上昇要因となりました。

*スプレッド：主に主要国債（先進国国債など）利回りとの利回り格差のことで、発行体の信用力や流動性等の影響を受けます。一般的に、信用力が高まればスプレッドは縮小（価格の上昇要因）し、信用力が低下すればスプレッドは拡大（価格の下落要因）する傾向があります。

*金利：債券価格は金利変動の影響を受けます。一般的に金利が低下した場合には債券価格は上昇し、逆に金利が上昇した場合には債券価格は下落する傾向があります。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第104期～第109期 2018年6月21日～2018年12月20日		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	56円	0.671%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は8,350円です。
(投 信 会 社)	(18)	(0.217)	委託した資金の運用等の対価
(販 売 会 社)	(36)	(0.433)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.022)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	4	0.050	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用・印刷費用等)	(4)	(0.050)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用や目論見書や運用報告書の作成に係る費用等
合 計	60	0.721	

(注) 期中において発生した費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注) 監査費用・印刷費用等にはマイナス金利に係る費用等を含みます。

■最近5年間の基準価額等の推移について

（2013年12月20日～2018年12月20日）



(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

	2013年12月20日	2014年12月22日	2015年12月21日	2016年12月20日	2017年12月20日	2018年12月20日
基準価額 (円)	9,728	9,473	8,868	8,822	9,110	8,170
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	480	480	480	455	180
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	2.2	△1.5	4.9	8.6	△8.4
純資産総額 (百万円)	2,275	1,420	997	701	623	481

- 当ファンドは、DWS エマージング・ソブリン・ボンド・マスター・ファンド（円）及びDWS ユーロ・リザーブ・ファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。ファンドの収益率を測る適切なインデックスが存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を設けておりません。

■投資環境について

（2018年6月21日～2018年12月20日）

主要先進国の10年国債利回り（以下、長期金利）は米国、欧州（ドイツ）ともに低下（価格は上昇）しました。米国では、米連邦準備制度理事会（FRB）による利上げ継続観測を背景に、長期金利は一時3.2%を上回りましたが、その後は米国株が大幅に下落したことや、利上げペースが減速するとの見方から低下しました。欧州では、欧州中央銀行（ECB）の金融緩和策が長期化するとの見方や、イタリアの政局不安や英国の欧州連合（EU）離脱交渉の不透明感等が長期金利の低下要因となりました。新興国の債券市場では、米国金利の変動性の高まりや、トルコ・リラの一時急落、米中貿易摩擦への警戒感などから、リスク回避的な流れが広がり、新興国の国債を中心に構成される代表的な指標であるJPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド指数（米ドル建）のスプレッドは拡大しました。一方、米国金利が低下したことから、トータルリターンはプラスとなりました。

（為替市場）

為替市場では、米ドルはFRBが利上げを継続したことなどから、対円で上昇しましたが、作成期末にかけては米国株急落等に加え、利上げペースが緩むとの見方が広がり、対円での上げ幅を縮めました。新興国通貨は、米中貿易摩擦や米国金利の変動、商品価格の調整を背景に下落傾向となりました。中でも、経常赤字国であるトルコでは金融政策への不信感もあり、通貨リラは一時急落しました。

■当該投資信託のポートフォリオについて

（2018年6月21日～2018年12月20日）

【豪ドルコース】／【ブラジルリアルコース】／【南アフリカランドコース】／【トルコリラコース】
／【円コース】

各ファンドでは当初の運用方針通り、主に新興国の政府及び政府機関等の発行する米ドル建の債券等に投資し、高水準のインカム・ゲインの獲得とファンド資産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

（DWS エマージング・ソブリン・ボンド・マスター・ファンド）

ポートフォリオの入れ替えに当たっては引き続き経済ファンダメンタルズが好調で比較的流動性の高い銘柄を中心に投資を行いました。地域別の投資比率については、作成期末時点では、欧州、中南米、アフリカ、アジア、中東の順で高位となっています。個別国については、引き続き政治リスクや経常収支に加え、商品価格の変動の影響等にも着目して組入れを行いました。ポートフォリオの金利リスクにつきましては、米国では2019年の利上げペースが緩む公算が高まったと見て、デュレーション*は前作成期末に比較し長期化しました。

（DWS ユーロ・リザーブ・ファンド）

主に変動利付債券を組入れて運用を行いました。

■ベンチマークとの差異について

（2018年6月21日～2018年12月20日）

各ファンドは運用の目標となるベンチマークや参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

*デュレーション：金利変動に対する債券価格の変動性を示します。一般的にデュレーションが長いほど金利変動に対する価格の変動が大きくなります。

■分配金について

【豪ドルコース（毎月分配型）】

基準価額水準等を勘案して、各期とも30円（税引前）といたしました。なお、留保された収益金につきましては、当ファンドの運用の基本方針に基づき運用させていただきます。

【分配原資の内訳】

（1万口当たり・税引前）

	第104期	第105期	第106期	第107期	第108期	第109期
	2018年6月21日～ 2018年7月20日	2018年7月21日～ 2018年8月20日	2018年8月21日～ 2018年9月20日	2018年9月21日～ 2018年10月22日	2018年10月23日～ 2018年11月20日	2018年11月21日～ 2018年12月20日
当期分配金	30円	30円	30円	30円	30円	30円
（対基準価額比率）	0.362%	0.380%	0.376%	0.383%	0.381%	0.387%
当期の収益	—	—	—	—	—	—
当期の収益以外	30	30	30	30	30	30
翌期繰越分配対象額	4,845	4,815	4,785	4,755	4,725	4,695

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金（税引前）と一致しない場合があります。

【ブラジルリアルコース（毎月分配型）】

基準価額水準等を勘案して、第104期から第106期は30円（税引前）、第107期から第109期は20円（税引前）といたしました。なお、留保された収益金につきましては、当ファンドの運用の基本方針に基づき運用させていただきます。

【分配原資の内訳】

（1万口当たり・税引前）

	第104期	第105期	第106期	第107期	第108期	第109期
	2018年6月21日～ 2018年7月20日	2018年7月21日～ 2018年8月20日	2018年8月21日～ 2018年9月20日	2018年9月21日～ 2018年10月22日	2018年10月23日～ 2018年11月20日	2018年11月21日～ 2018年12月20日
当期分配金	30円	30円	30円	20円	20円	20円
（対基準価額比率）	0.992%	1.051%	1.095%	0.661%	0.678%	0.704%
当期の収益	—	—	—	—	—	—
当期の収益以外	30	30	30	20	20	20
翌期繰越分配対象額	1,688	1,658	1,628	1,608	1,588	1,568

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金（税引前）と一致しない場合があります。

【南アフリカランドコース（毎月分配型）】

基準価額水準等を勘案して、第104期から第106期は35円（税引前）、第107期から第109期は30円（税引前）といたしました。なお、留保された収益金につきましては、当ファンドの運用の基本方針に基づき運用させていただきます。

【分配原資の内訳】

(1万口当たり・税引前)

	第104期	第105期	第106期	第107期	第108期	第109期
	2018年6月21日～ 2018年7月20日	2018年7月21日～ 2018年8月20日	2018年8月21日～ 2018年9月20日	2018年9月21日～ 2018年10月22日	2018年10月23日～ 2018年11月20日	2018年11月21日～ 2018年12月20日
当期分配金	35円	35円	35円	30円	30円	30円
（対基準価額比率）	0.885%	1.017%	0.991%	0.838%	0.831%	0.844%
当期の収益	—	—	—	—	—	—
当期の収益以外	35	35	35	30	30	30
翌期繰越分配対象額	6,320	6,285	6,250	6,220	6,190	6,160

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金（税引前）と一致しない場合があります。

【トルコリラコース（毎月分配型）】

基準価額水準等を勘案して、第104期から第106期は35円（税引前）、第107期から第109期は5円（税引前）といたしました。なお、留保された収益金につきましては、当ファンドの運用の基本方針に基づき運用させていただきます。

【分配原資の内訳】

(1万口当たり・税引前)

	第104期	第105期	第106期	第107期	第108期	第109期
	2018年6月21日～ 2018年7月20日	2018年7月21日～ 2018年8月20日	2018年8月21日～ 2018年9月20日	2018年9月21日～ 2018年10月22日	2018年10月23日～ 2018年11月20日	2018年11月21日～ 2018年12月20日
当期分配金	35円	35円	35円	5円	5円	5円
（対基準価額比率）	1.535%	2.027%	2.052%	0.264%	0.249%	0.244%
当期の収益	—	—	—	—	—	—
当期の収益以外	35	35	35	5	5	5
翌期繰越分配対象額	6,955	6,920	6,885	6,880	6,875	6,870

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金（税引前）と一致しない場合があります。

【円コース（毎月分配型）】

基準価額水準等を勘案して、各期とも15円（税引前）といたしました。なお、留保された収益金につきましては、当ファンドの運用の基本方針に基づき運用させていただきます。

【分配原資の内訳】

（1万円当たり・税引前）

	第104期	第105期	第106期	第107期	第108期	第109期
	2018年6月21日～ 2018年7月20日	2018年7月21日～ 2018年8月20日	2018年8月21日～ 2018年9月20日	2018年9月21日～ 2018年10月22日	2018年10月23日～ 2018年11月20日	2018年11月21日～ 2018年12月20日
当期分配金	15円	15円	15円	15円	15円	15円
（対基準価額比率）	0.176%	0.179%	0.180%	0.181%	0.184%	0.183%
当期の収益	—	—	—	—	—	—
当期の収益以外	15	15	15	15	15	15
翌期繰越分配対象額	2,291	2,276	2,261	2,246	2,231	2,216

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金（税引前）と一致しない場合があります。

今後の運用方針

【豪ドルコース】／【ブラジルリアルコース】／【南アフリカランドコース】／【トルコリラコース】／【円コース】

各ファンドでは引き続き当初の運用方針通り、主に新興国の政府及び政府機関等の発行する米ドル建の債券等に投資し、高水準のインカム・ゲインの獲得とファンド資産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

（DWS エマージング・ソブリン・ボンド・マスター・ファンド）

米国では、利上げペースは減速する可能性も見込まれますが、経済は幾分鈍化しつつも成長を維持していると予想されます。欧州では、ECBによる利上げ時期が注目される一方で、3月末に予定される英国のEU離脱を巡る警戒感、金利を低位に抑制する要因になると想定しています。新興国の債券市場については、米国の金利変動や中国景気の減速懸念、欧州政治の混乱による影響が見込まれます。一方、米国金利の先高感が後退したことは支えになると見られます。2018年には通貨急落に見舞われたトルコやアルゼンチン、重要選挙を終了し、今後新政権の政策が注目されるブラジル、メキシコ等、引き続き新興国の間でもパフォーマンスが分かれる可能性が高いと見ています。

（DWS ユーロ・リザーブ・ファンド）

ユーロ建短期金融商品等を投資対象とし、3ヵ月ユーロLIBIDをベンチマークとして引き続き安定的な収益の確保を目指して運用を行います。

お知らせ

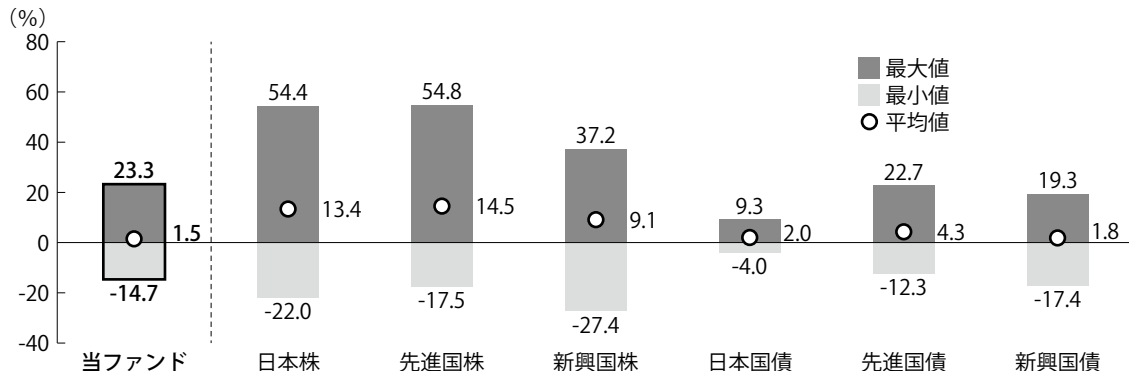
2018年9月1日に投資運用会社の社名が、「ドイチェ・アセット・マネジメント・インベストメントGmbH」から、「DWS インベストメントGmbH」に変更されました。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券			
信託期間	2009年9月25日から2019年6月20日（豪ドルコース、ブラジルリアルコース、円コースは2024年6月20日）まで			
運用方針	インカム・ゲインの獲得と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。			
主要投資対象	当ファンド	原則として、ルクセンブルグ籍外国投資信託DWS エマージング・ソブリン・ボンド・マスター・ファンド及びルクセンブルグ籍外国投資信託DWS ユーロ・リザーブ・ファンドに投資を行うことを基本とします。		
	DWS エマージング・ソブリン・ボンド・マスター・ファンド	新興国の政府及び政府機関等の発行する債券等を主要投資対象とします。		
	DWS ユーロ・リザーブ・ファンド	ユーロ建の短期金融商品等を主要投資対象とします。		
運用方法	主として、新興国の政府及び政府機関等の発行する債券等を主要投資対象とし、インカム・ゲインの獲得と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。 <豪ドルコース／ブラジルリアルコース／南アフリカランドコース／トルコリラコース>では、実質的な保有外貨建資産に対して原則として当該通貨売り、以下の通貨買いの為替取引を行うルクセンブルグ籍外国投資信託DWS エマージング・ソブリン・ボンド・マスター・ファンドに投資を行います。			
	豪ドルコース	ブラジルリアルコース	南アフリカランドコース	トルコリラコース
	豪ドル	ブラジルリアル	南アフリカランド	トルコリラ
また、<円コース>では、実質的な保有外貨建資産について原則として対円での為替ヘッジを行うルクセンブルグ籍外国投資信託DWS エマージング・ソブリン・ボンド・マスター・ファンドに投資を行います。 また、各ファンドはルクセンブルグ籍外国投資信託DWS ユーロ・リザーブ・ファンドにも投資を行います。				
分配方針	毎決算時（原則として毎月20日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日。）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額は、経費等控除後の繰越分を含めた配当等収益及び売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準及び市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。 ③留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。			

代表的な資産クラスとの騰落率の比較（2013年12月末～2018年11月末）

【豪ドルコース（毎月分配型）】



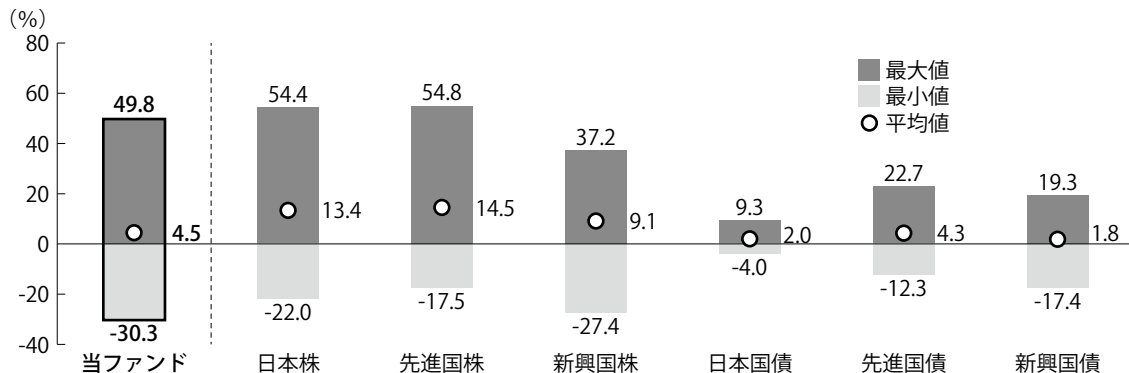
(当該ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率（%）)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	1.5	13.4	14.5	9.1	2.0	4.3	1.8
最大値	23.3	54.4	54.8	37.2	9.3	22.7	19.3
最小値	-14.7	-22.0	-17.5	-27.4	-4.0	-12.3	-17.4

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

【ブラジルリアルコース（毎月分配型）】



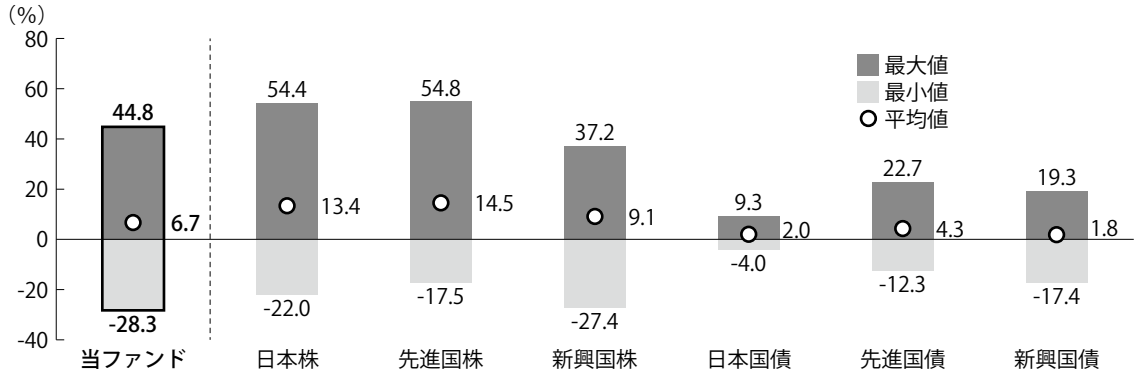
(当該ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率（%）)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	4.5	13.4	14.5	9.1	2.0	4.3	1.8
最大値	49.8	54.4	54.8	37.2	9.3	22.7	19.3
最小値	-30.3	-22.0	-17.5	-27.4	-4.0	-12.3	-17.4

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

【南アフリカランドコース（毎月分配型）】



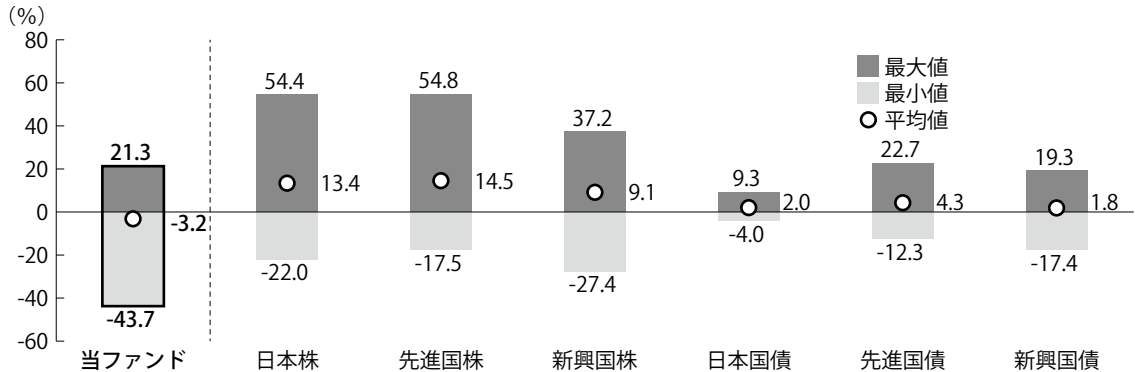
(当該ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率 (%))

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	6.7	13.4	14.5	9.1	2.0	4.3	1.8
最大値	44.8	54.4	54.8	37.2	9.3	22.7	19.3
最小値	-28.3	-22.0	-17.5	-27.4	-4.0	-12.3	-17.4

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

【トルコリラコース（毎月分配型）】



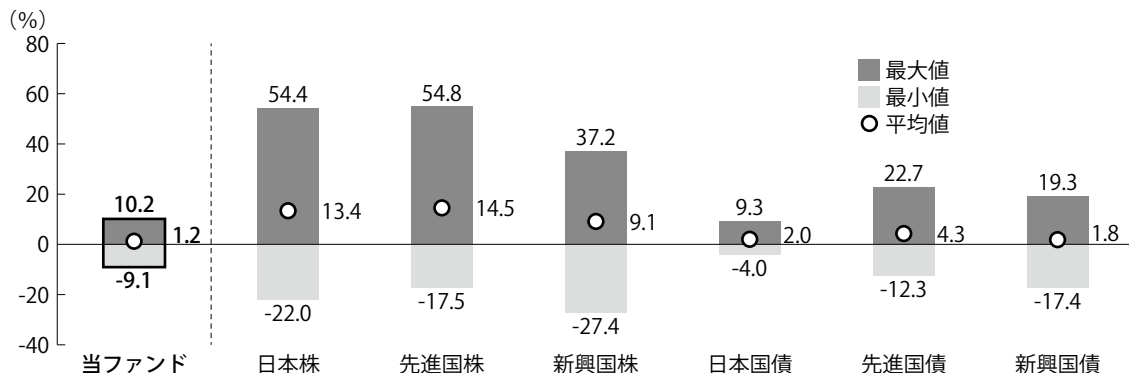
(当該ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率 (%))

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	-3.2	13.4	14.5	9.1	2.0	4.3	1.8
最大値	21.3	54.4	54.8	37.2	9.3	22.7	19.3
最小値	-43.7	-22.0	-17.5	-27.4	-4.0	-12.3	-17.4

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

【円コース（毎月分配型）】



(当該ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率（%）)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	1.2	13.4	14.5	9.1	2.0	4.3	1.8
最大値	10.2	54.4	54.8	37.2	9.3	22.7	19.3
最小値	-9.1	-22.0	-17.5	-27.4	-4.0	-12.3	-17.4

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

*2013年12月～2018年11月の5年間における年間騰落率の平均・最大・最小を、当該ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

*各資産クラスの指数

日本株：TOPIX（配当込み）

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCIエマーシング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデクスーエマーシング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

(注) 先進国株、新興国株、先進国債及び新興国債の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

各資産クラスの指数について

- ・ T O P I X（東証株価指数）は、株式会社東京証券取引所（以下「東証」といいます。）の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用等株価指数に関するすべての権利は、東証が有しています。東証は、T O P I Xの算出もしくは公表の方法の変更、T O P I Xの算出もしくは公表の停止またはT O P I Xの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
- ・ M S C I コクサイ・インデックス及びM S C I エマージング・マーケット・インデックスは、M S C I インク（以下「M S C I」といいます。）が算出する指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はM S C Iに帰属します。また、M S C Iは同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。
- ・ N O M U R A - B P Iは、野村証券株式会社が公表している指数で、その知的財産権その他一切の権利は野村証券株式会社に帰属します。なお、野村証券株式会社はN O M U R A - B P Iを用いて行われるドイチェ・アセット・マネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切の責任を負いません。
- ・ F T S E 世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数です。同指数に関する著作権、知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。
- ・ J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイドは、JPMorgan Chase & Co.の子会社であるJ.P.Morgan Securities LLC（以下「J.P.Morgan」といいます。）が算出する債券インデックスであり、その著作権及び知的所有権は同社に帰属します。J.P.Morganは、J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド及びそのサブインデックスが参照される可能性のある、または販売奨励の目的でJ P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド及びそのサブインデックスが使用される可能性のあるいかなる商品についても、出資、保証、または奨励するものではありません。J.P.Morganは、証券投資全般もしくは本商品そのものへの投資の適否またはJ P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド及びそのサブインデックスが債券市場一般のパフォーマンスに連動する能力に関して、何ら明示または黙示に、表明または保証するものではありません。

ファンドデータ

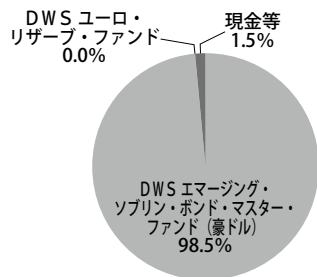
【豪ドルコース (毎月分配型)】
■当ファンドの組入資産の内容

◆組入上位ファンド

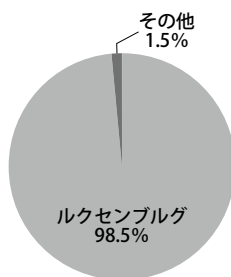
項 目	第109期末
	2018年12月20日
DWS エマーシング・ソブリン・ボンド・マスター・ファンド (豪ドル)	98.5%
D W S ユーロ・リザーブ・ファンド	0.0%

(注) 組入比率は純資産総額に対する割合です。

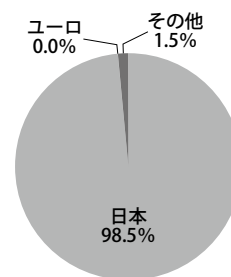
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

■純資産等

項 目	第104期末	第105期末	第106期末	第107期末	第108期末	第109期末
	2018年7月20日	2018年8月20日	2018年9月20日	2018年10月22日	2018年11月20日	2018年12月20日
純 資 産 総 額	1,494,744,280円	1,392,405,300円	1,388,518,416円	1,342,768,364円	1,294,056,080円	1,259,339,876円
受 益 権 総 口 数	1,808,147,519口	1,768,653,954口	1,747,597,033口	1,721,904,934口	1,650,789,222口	1,632,118,033口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額	8,267円	7,873円	7,945円	7,798円	7,839円	7,716円

当作成期中における追加設定元本額は1,490,349円、同解約元本額は232,266,955円です。

【ブラジルリアルコース（毎月分配型）】

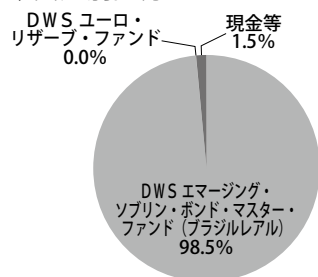
■当ファンドの組入資産の内容

◆組入上位ファンド

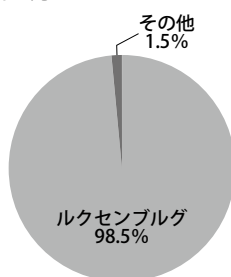
項 目	第109期末
	2018年12月20日
DWS エマージング・ソブリン・ボンド・マスター・ファンド（ブラジルリアル）	98.5%
D W S ユーロ・リザーブ・ファンド	0.0%

（注）組入比率は純資産総額に対する割合です。

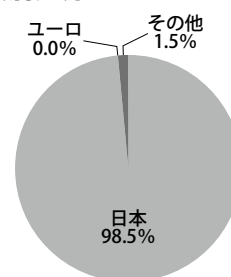
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注）比率は純資産総額に対する割合です。

（注）端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

■純資産等

項 目	第104期末	第105期末	第106期末	第107期末	第108期末	第109期末
	2018年7月20日	2018年8月20日	2018年9月20日	2018年10月22日	2018年11月20日	2018年12月20日
純 資 産 総 額	1,378,638,981円	1,260,334,838円	1,201,746,768円	1,326,106,032円	1,278,911,331円	1,222,616,466円
受 益 権 総 口 数	4,606,366,230口	4,460,675,668口	4,436,075,759口	4,410,370,271口	4,363,600,307口	4,335,528,890口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額	2,993円	2,825円	2,709円	3,007円	2,931円	2,820円

当作成期中における追加設定元本額は25,754,278円、同解約元本額は336,043,036円です。

【南アフリカランドコース（毎月分配型）】

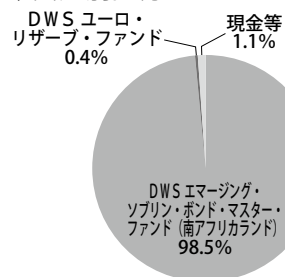
■当ファンドの組入資産の内容

◆組入上位ファンド

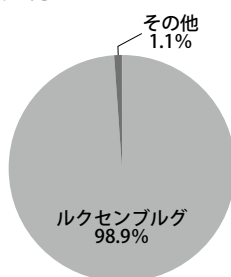
項 目	第109期末
	2018年12月20日
DWS エマージング・ソブリン・ボンド・マスター・ファンド（南アフリカランド）	98.5%
D W S ユーロ・リザーブ・ファンド	0.4%

（注）組入比率は純資産総額に対する割合です。

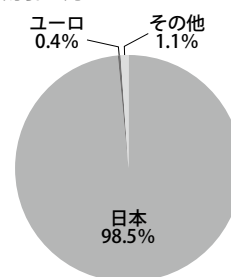
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注）比率は純資産総額に対する割合です。

（注）端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

■純資産等

項 目	第104期末	第105期末	第106期末	第107期末	第108期末	第109期末
	2018年7月20日	2018年8月20日	2018年9月20日	2018年10月22日	2018年11月20日	2018年12月20日
純 資 産 総 額	38,839,013円	33,827,531円	34,655,841円	36,926,092円	34,342,016円	33,843,252円
受 益 権 総 口 数	99,056,628口	99,254,860口	99,112,934口	103,992,035口	95,894,990口	96,038,920口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額	3,921円	3,408円	3,497円	3,551円	3,581円	3,524円

当作成期中における追加設定元本額は9,549,265円、同解約元本額は14,418,533円です。

【トルコリラコース (毎月分配型)】

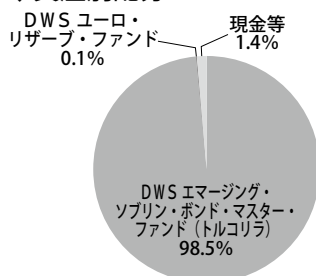
■当ファンドの組入資産の内容

◆組入上位ファンド

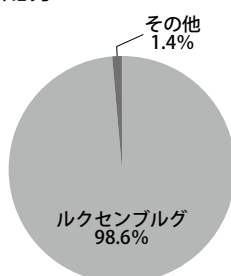
項 目	第109期末
	2018年12月20日
DWS エマーシング・ソブリン・ボンド・マスター・ファンド (トルコリラ)	98.5%
D W S ユーロ・リザーブ・ファンド	0.1%

(注) 組入比率は純資産総額に対する割合です。

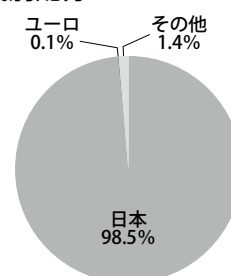
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

■純資産等

項 目	第104期末	第105期末	第106期末	第107期末	第108期末	第109期末
	2018年7月20日	2018年8月20日	2018年9月20日	2018年10月22日	2018年11月20日	2018年12月20日
純 資 産 総 額	118,466,756円	90,433,642円	92,152,799円	105,199,315円	108,989,889円	110,786,134円
受 益 権 総 口 数	527,799,335口	534,548,203口	551,396,666口	557,871,281口	544,833,279口	542,615,505口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額	2,245円	1,692円	1,671円	1,886円	2,000円	2,042円

当作成期中における追加設定元本額は66,326,658円、同解約元本額は50,252,511円です。

【円コース（毎月分配型）】

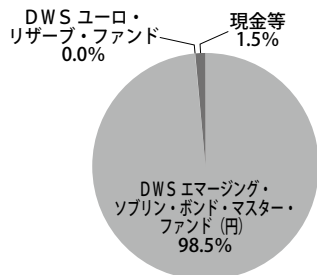
■当ファンドの組入資産の内容

◆組入上位ファンド

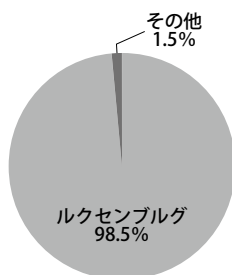
項 目	第109期末
	2018年12月20日
DWS エマージング・ソブリン・ボンド・マスター・ファンド（円）	98.5%
D W S ユーロ・リザーブ・ファンド	0.0%

（注）組入比率は純資産総額に対する割合です。

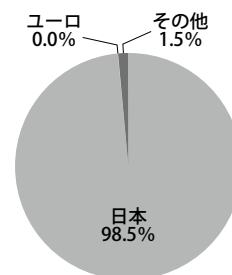
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注）比率は純資産総額に対する割合です。

（注）端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

■純資産等

項 目	第104期末	第105期末	第106期末	第107期末	第108期末	第109期末
	2018年7月20日	2018年8月20日	2018年9月20日	2018年10月22日	2018年11月20日	2018年12月20日
純 資 産 総 額	555,118,581円	535,344,964円	524,746,037円	521,294,242円	504,851,982円	481,842,523円
受 益 権 総 口 数	652,167,580口	639,834,901口	629,643,844口	628,932,955口	619,790,520口	589,798,160口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額	8,512円	8,367円	8,334円	8,289円	8,146円	8,170円

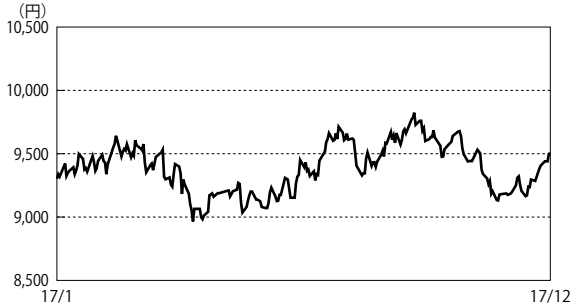
当作成期中における追加設定元本額は508,338円、同解約元本額は67,225,894円です。

■組入上位ファンドの概要

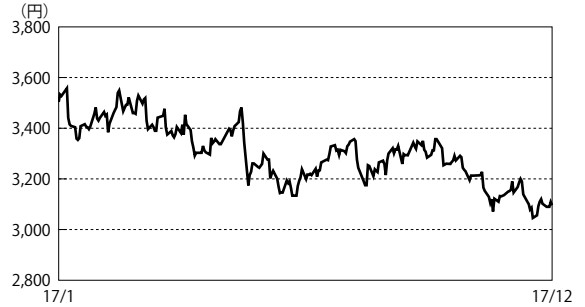
DWS エマーヅング・ソブリン・ボンド・マスター・ファンド (2017年1月1日～2017年12月31日)

◆基準価額の推移

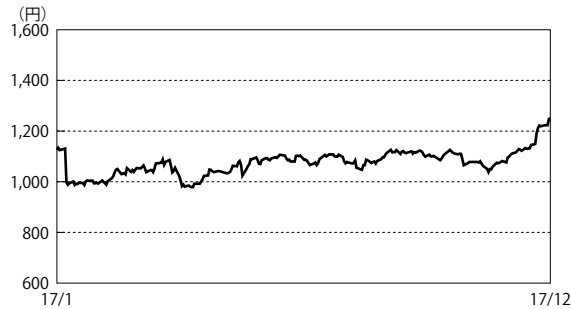
【豪ドルクラス】



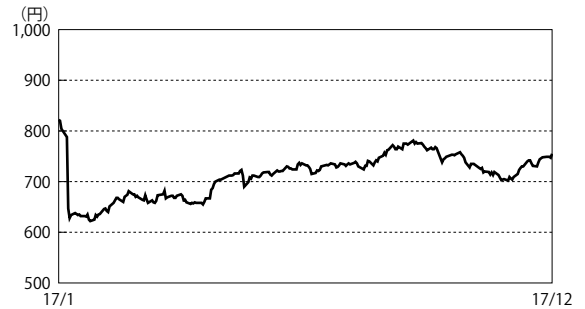
【ブラジルリアルクラス】



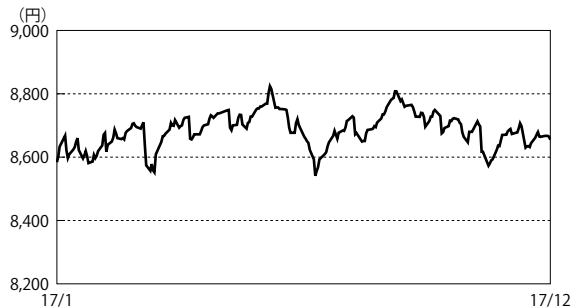
【南アフリカランドクラス】



【トルコリラクラス】



【円クラス】



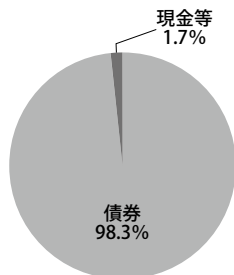
◆上位10銘柄

	銘柄名	クーポン	償還日	国名	通貨名	比率
1	Turkey Government International Bond 2011/2022.	5.125%	2022/3/25	トルコ	アメリカ・ドル	3.7%
2	Vnesheconombank -Reg- 2010/2020	6.902%	2020/7/9	ロシア	アメリカ・ドル	2.9%
3	KazAgro National Management Holding JSC 2013/2023	4.625%	2023/5/24	カザフスタン	アメリカ・ドル	2.7%
4	Eskom Holdings SOC Ltd -Reg- 2011/2021	5.750%	2021/1/26	南アフリカ	アメリカ・ドル	2.6%
5	Majapahit Holding BV -Reg- 2007/2037	7.875%	2037/6/29	インドネシア	アメリカ・ドル	2.4%
6	Banque Centrale de Tunisie International Bond 2017/2024	5.625%	2024/2/17	チュニジア	ユーロ	2.2%
7	1MDB Global Investments Ltd. -Reg- 2013/2023	4.400%	2023/3/9	マレーシア	アメリカ・ドル	2.2%
8	Ecuador Government International Bond -Reg- 2016/2022	10.750%	2022/3/28	エクアドル	アメリカ・ドル	2.1%
9	Petroleos Mexicanos 2016/2046	5.625%	2046/1/23	メキシコ	アメリカ・ドル	2.1%
10	Republic of Armenia 2015/2025	7.150%	2025/3/26	アルメニア	アメリカ・ドル	2.0%
組入銘柄数		73銘柄				

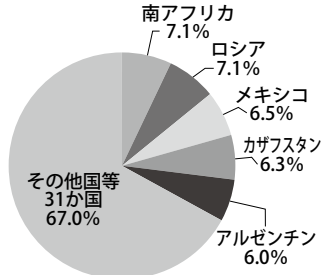
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

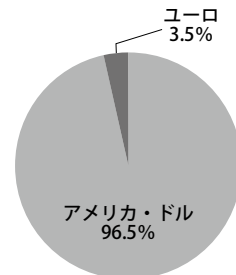
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する割合です。

(注) 資産別配分には未収利息を含んでおります。

(注) 国別配分、通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注) 端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

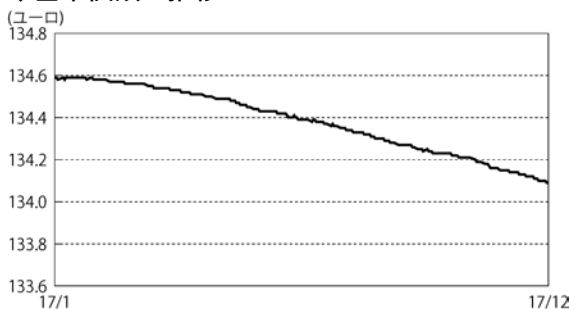
◆費用の明細

項目	
委託者報酬	△459,835.45米ドル
保管銀行費用	△ 2,346.39
監査費用、弁護士費用及び印刷費用	△ 20,828.60
申込税	△ 10,992.61
その他費用	△121,616.24
合計	△615,619.29

(注) 上記につきましては、「1万口当たり」でのデータ取得が困難なため、年間総額の表示とさせていただきます。

DWS ユーロ・リザーブ・ファンド（2017年1月1日～2017年12月31日）

◆基準価額の推移



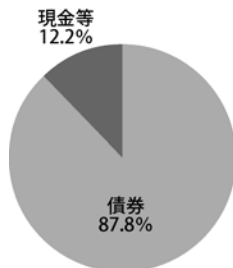
◆上位10銘柄

	銘柄名	クーポン	通貨	比率
1	SBAB Bank (publ.) 15/27.06.18 MTN	0.000%	ユーロ	1.7%
2	The Coca-Cola 15/09.09.19	0.000%	ユーロ	1.7%
3	Swedbank 15/26.03.18 MTN	0.351%	ユーロ	1.6%
4	JPMorgan Chase Bank 16/14.06.18 MTN	0.000%	ユーロ	1.4%
5	Danske Bank 17/24.05.19 MTN	0.421%	ユーロ	1.3%
6	Banque Federative Credit Mu. 14/20.03.19 MTN	0.391%	ユーロ	1.3%
7	DNB Bank 14/28.01.19 MTN	0.249%	ユーロ	1.3%
8	HSBC Holdings 16/21.12.18 MTN	0.271%	ユーロ	1.3%
9	Barclays Bank 17/13.03.19 MTN	0.073%	ユーロ	1.3%
10	Pfizer 17/06.03.19	0.000%	ユーロ	1.3%
組入銘柄数			90銘柄	

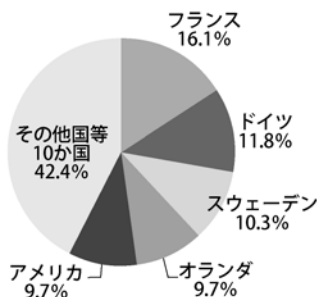
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

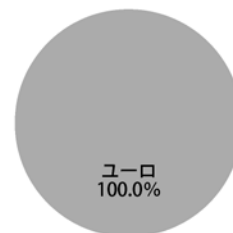
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

◆費用の明細

項目	
支払利息	△72,634.13ユーロ
委託者報酬	△309,617.00
その他費用	△18,972.23
合計	△401,223.36

(注) 上記につきましては、「1万口当たり」でのデータ取得が困難なため、年間総額の表示とさせていただきます。

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社
東京都千代田区永田町 2-11-1 山王パークタワー

<お問い合わせ先>

電話番号：0120-442-785

受付時間：営業日の午前9時～午後5時

<https://funds.dws.com/jp/>

*お取引内容等につきましては、ご購入された販売会社にお問い合わせください。